



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年11月8日

上場会社名 株式会社 アイレックス 上場取引所 東  
 コード番号 6944 URL <http://www.airex.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 畑 徹  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名) 榎 恒久 (TEL)03(3245)2011  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,852	11.9	29	△55.2	32	△52.7	7	△44.7
25年3月期第2四半期	1,656	△4.3	64	△61.5	68	△60.3	13	△88.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 19百万円(136.8%) 25年3月期第2四半期 8百万円(△93.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.26	0.15
25年3月期第2四半期	0.48	0.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,442	501	34.7
25年3月期	1,483	481	32.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 501百万円 25年3月期 481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	0.4	120	247.0	120	166.4	100	—	3.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期 2 Q	29,417,400株	25年3月期	29,417,400株
26年3月期 2 Q	7,865株	25年3月期	7,865株
26年3月期 2 Q	29,409,535株	25年3月期 2 Q	29,411,026株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、各種経済政策の効果が発現するなかで輸出業種の業績回復に加え、個人消費の消費マインドともに底堅く推移していることを背景に持ち直し傾向にあります。物価については、このところエネルギー関連を中心に上昇傾向にあり、デフレ状態でなくなりつつあります。また、景気は、製造業を中心に改善方向にあり、投資の増加傾向が続き、回復の動きは確かなものになることが期待されます。

一方、世界経済においては、弱い回復が続いているものの、底堅さがみられます。欧州政府債務問題が引き続き、我が国経済を下押しするリスクとなっており、米国における政策動向による影響や中国やその他新興国経済の先行き等にも留意する必要があります。

情報サービス業界におきましては、クラウドサービスの進展により、システム等管理運営受託の分野では概ね前年度より増加傾向で推移しており、ソフトウェア受託開発の分野は横這い傾向にあります。

このような事業環境下、当社グループは、「通信・制御系システムを中心に、幅広いソリューションの提案からシステム開発・運用・検証・保守業務まで、総合的なソフトウェアサービスをご提供することができる」という強みを活かし、当社グループの幅広い業務経験、ノウハウをもとに既存顧客からの受注拡大及びターゲット業種拡大による受注拡大に取り組んでおります。

また、当社グループは、コンプライアンス最重視の経営を実践するとともに、「新たなビジネスモデルの創造とトータルソリューションの提供」と「業務改革」に取り組んでおります。

- ・新たなビジネスモデルの創造とトータルソリューションの提供

従来から行ってまいりました受託ソフト開発などの既存ビジネスモデルでの事業拡大に加えて、更なる事業拡大を図るため、当社グループ各社の連携のみならず、TCSホールディングスグループ各社との連携によるシナジー効果を最大限に発揮し、トータルソリューション提供により、お客様のビジネス拡大に寄与するよう活動しております。

- ・業務改革

業務の効率化による固定費の削減と事業規模拡大のため、以下に注力しております。

1. グループ各社管理部門の一体化による管理コストの最適化
2. 事業規模拡大を図るための中堅社員育成と実務者の中途採用強化
3. 顧客ニーズを先取りしたエンジニアリング能力の強化

## ①売上高及び営業利益

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、グループ全体での連携を強化し、得意分野である通信関連、業務アプリ関連等のソフト開発案件及びシステム構築・評価案件の受注活動に注力した結果、売上高は前年同四半期と比べ196,546千円(11.9%)増加し1,852,727千円となりましたが、一部の不採算案件の発生、期初の稼働率低下等により原価率が悪化したことにより、営業利益は35,805千円(△55.2%)減少し、29,045千円となりました。

## ②経常利益

営業外損益では、受取配当金、受取賃貸料等の営業外収益が5,246千円ありましたが、営業外費用で支払利息等が1,795千円あり、その結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は前年同四半期と比べ36,243千円(△52.7%)減少し32,496千円となりました。

## ③四半期純利益

特別損益では、役員退職慰労引当金戻入額等の特別利益が12,539千円ありましたが、特別損失で過年度決算訂正関連費用等が22,995千円あり、また、法人税等を14,300千円計上したことにより、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、6,255千円(△44.7%)減少し7,740千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、現金及び預金や仕掛品等が増加しましたが、売掛金等の減少により前連結会計年度末より54,514千円減少し1,062,977千円となりました。

固定資産は、投資有価証券の時価上昇による増加等により、前連結会計年度末より13,729千円増加し379,985千円となりました。

その結果、資産合計は前連結会計年度末より40,784千円減少し1,442,963千円となりました。

(負債)

流動負債は、賞与引当金等が増加しましたが、買掛金等の減少により前連結会計年度末より76,334千円減少し629,219千円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加等により16,048千円増加し312,582千円となりました。

その結果、負債合計は前連結会計年度末より60,285千円減少し941,802千円となりました。

(純資産)

純資産は、投資有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が11,760千円増加し、また、四半期純利益7,740千円の計上により、前連結会計年度末より19,500千円増加し501,161千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年6月10日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	298,386	324,846
受取手形及び売掛金	766,738	622,316
商品及び製品	699	1,188
仕掛品	4,980	60,543
原材料及び貯蔵品	612	960
その他	46,180	53,205
貸倒引当金	△106	△84
流動資産合計	1,117,492	1,062,977
固定資産		
有形固定資産	75,683	74,919
無形固定資産	3,217	2,197
投資その他の資産		
投資有価証券	228,196	246,776
その他	61,813	58,747
貸倒引当金	△2,654	△2,654
投資その他の資産合計	287,355	302,869
固定資産合計	366,255	379,985
資産合計	1,483,748	1,442,963
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	289,859	227,886
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	43,039	14,573
賞与引当金	74,482	91,339
その他	98,172	95,420
流動負債合計	705,553	629,219
固定負債		
関係会社長期借入金	140,000	140,000
退職給付引当金	120,333	137,836
役員退職慰労引当金	9,537	2,459
その他	26,662	32,285
固定負債合計	296,533	312,582
負債合計	1,002,087	941,802
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
資本剰余金	35,710	35,710
利益剰余金	317,155	324,895
自己株式	△803	△803
株主資本合計	432,061	439,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,598	61,359
その他の包括利益累計額合計	49,598	61,359
純資産合計	481,660	501,161
負債純資産合計	1,483,748	1,442,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,656,180	1,852,727
売上原価	1,406,864	1,602,817
売上総利益	249,316	249,909
販売費及び一般管理費		
販売費	3,851	1,860
一般管理費	180,613	219,002
販売費及び一般管理費合計	184,465	220,863
営業利益	64,851	29,045
営業外収益		
受取利息	35	38
受取配当金	1,949	2,667
受取賃貸料	2,514	2,535
その他	22	5
営業外収益合計	4,521	5,246
営業外費用		
支払利息	633	1,713
その他	—	82
営業外費用合計	633	1,795
経常利益	68,739	32,496
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,568
役員退職慰労引当金戻入額	—	7,970
特別利益合計	—	12,539
特別損失		
投資有価証券評価損	9,370	—
投資有価証券売却損	—	15
過年度決算訂正関連費用	—	22,980
特別損失合計	9,370	22,995
税金等調整前四半期純利益	59,368	22,040
法人税等	37,983	14,300
少数株主損益調整前四半期純利益	21,385	7,740
少数株主利益	7,389	—
四半期純利益	13,996	7,740

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,385	7,740
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△13,151	11,760
その他の包括利益合計	△13,151	11,760
四半期包括利益	8,234	19,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,249	19,500
少数株主に係る四半期包括利益	6,984	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、システム開発並びにこれらの付随業務を事業内容とするシステム事業という単一セグメントであります。会社別の利益分析等を行っておりますが、事業戦略の意思決定、経営資源の配分等は当社グループ全体で行っているため、セグメント情報の開示は省略しております。